

(別紙4(2))

事業所名: 小規模多機能ホームみんなの家

作成日: 平成 30 年 3 月 13 日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議における議題内容も徐々に多様なものとなってきている状況であるが、運営の透明性を図る一環としてヒヤリハットや事故報告等も行わないアドバイスを受ける必要がある。	運営状況報告内容を濃くする事で、事業運営の透明化をはかり、地域やご家族に対し開かれた事業所となる様に取り組む。	ヒヤリハットの報告や介護(認知症や重度化対応等)内容等を公表する事で、地域や家族代表からのアドバイスを受け、サービスの質の向上やより一層地域に根ざした事業所となる様に取り組む。	12ヶ月
2	26	介護計画作成において、サービスの内容やニーズの変更等が無い場合には、ご利用者ご家族への説明及び口頭での同意を得ているが、書面上(支援経過記録記載等)での管理が統一化されておらず、不備がある。	介護計画の変更はもとより、サービス継続である場合においても、書面上(支援経過記録若しくは同意書作成において)での管理を統一化を徹底する。	支援経過記録への同意欄作成若しくは別紙での同意書作成を行い、支援状況の説明やサービス継続である事の説明を行った際には、ご利用者ご家族より確認のサインと捺印を頂く様に統一する。	6ヶ月
3	35	消防計画や緊急対応マニュアルについては十分な内容となっているが、自然災害に対する計画や訓練が不十分である。	自然災害対策マニュアル及び計画書の作成と訓練の実施による職員への意識付けを行う。	消防計画や緊急対応マニュアルにあわせ、自然災害計画を作成し職員への周知徹底を行う。また、自主防衛訓練を定期的に行なう事で、ご利用者や職員自身の安全確保が出来る様に取り組む。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。